

作業所と学生の間で

福井雅人

私は地域作業所に通う、障害者のメンバーの一人ですが、最近、とりわけ、実習に来る看護学生の在り方に、疑問を持つ事が増えていきます。私は今の作業所に十七年通う、今年還暦を迎える男ですが、彼女達学生の変化に驚かされ、その意識の低さに呆れかえります。例を挙げれば、去年私を通って十六年目にして初めて、遅刻をして来るといふ学生が現れました。あろう事か、遅れて来た学生は、悪びれるどころか、先に来ていた学生に、入って来るなり笑って手を振っていました。「えっ、何だこれは」私は言葉を失いました。メンバーはともかく、職員も誰も注意はしません。こういう事は連鎖反応を起こすのか、翌月に来た学生の中にも、遅刻をして来る学生がいました。彼女達の、体調が悪かったからとか、所長の言うところに依る、こういう事を重ねて大人になっていく、成長していくという考え方も、分からないでもありませんが、大体に於いて、たった二日間の実習にもかわらず、遅刻をしてしまう。体調の照準を実習日に合わせてくれば、防げることでしよう。

仕事に入れば、仕事がいらいらして出来ないとか、棚を見れば、まだあんなに仕事が残っているのがうんざりするとか、あまりの体たらくにがっかりします。今までの中には、学生達を教える立場の先生の中に、私のとなりで、学生の様子を見に来て、ちよっと手伝っただけなのに、この仕事もうやりたくない、と言われた時には、がく然としました。

彼女達は、作業所での実習を、どう捉えているのでしょうか？ 作業所での仕事、メンバーを馬鹿にしているのでしょうか？ 同じ実習でも、病院での実習でも、遅刻をしたり、ごたくを並べたりするのでしょうか？ どんな仕事にも、優劣はありません。ひとえに彼女達自身の取り組み方だと思います。